

パンデミック対策ソリューション

赤外線カメラによる発熱対象者検出

赤外線カメラを用いて非接触で体表面温度を計測し、発熱の疑いがある対象者の検出を行います。



CPA-T500 シリーズ

新型コロナウイルスや SARS などのウイルス感染症の流行に対して、交通施設や民間の企業での対策が重要となっています。
熱画像カメラはリアルタイムで二次元での計測が可能であり、歩く対象者にも対応可能であり、発熱の疑いのある対象者の早期の発見・対応に有効なツールになります。

特長

●スクリーニング機能

体表面温度は環境温度の影響が大きい為、予め 10 名の健常者のサンプル温度を取得し、その平均温度からアラームの閾値を設定することが可能。

●映像出力機能

デジタル映像出力で離れた場所からモニタリングが可能。

●Wi-Fi 機能

カメラに Wi-Fi 機能を搭載し、モバイル端末からのコントロールが可能。



コラボ商品

企業の受付や社員用入口でより確実に体表面温度をチェック

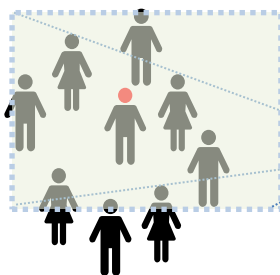
- ◇ 約 3 秒の赤外線での体表面温度チェックでスピーディ。
- ◇ 非接触でチェック可能なので衛生的に運用可能。
- ◇ 社員の自己管理の啓発の支援となります。

*体表面温度のチェックなので実際の体温とは異なります。



体表面温度チェッカ
TP-U シリーズ

運用イメージ



イメージ画像



交通施設での運用



株式会社 **手**

東日本支店 〒173-8632 東京都板橋区熊野町 32-8
☎03(3956)2205(代)

大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-101
(大同生命江坂ビル)
☎06(6385)7031(代)

名古屋支店 〒450-0001 愛知県名古屋市中村区那古野 1-47-1
(名古屋国際センタービル)
☎052(581)7595(代)

* この資料の記載内容は 2020 年 1 月現在のものです。